

ふれあい記録

実施日：平成 26 年 10 月 8 日(1 日目)

当番者名 岩崎宗郷 柴崎幸治

コース名：独自コース 19 番 「紅葉の栗駒山」

(通し番号 第 102 回)

天 候：晴れ

参加者名：相川 勲・市瀬 英雄・岩崎 宗郷・江口 正彦・小俣 悦男・神谷 順子・
功力 満紀子・柴崎 幸治・中山 博・西村 寿文・細矢 清志・堀井 克子・宮原 さち子・
宮原 宏至・吉田 千代

<ビジター>

計 15 名 (内、男 10 名 女 5 名) (五十音順)

交 通 (時刻)：

東京駅 7:16 発[はやて 111 号]⇒一ノ関駅 9:30 着。一ノ関駅西口前 9:50 発[岩手県交通バス]⇒平泉駅前 10:13 着。毛越寺 11:48 発[平泉巡回バス るんるん]⇒中尊寺 11:55 着。中尊寺 13:48 発[岩手県交通バス]⇒一ノ関西口前 14:10 着。一ノ関西口 14:40 発[岩手県交通バス]⇒須川高原温泉 16:28(16:14)着(途中、巖美溪バス停で乗り残しが出て、増発)。

コースタイム (時刻)：

平泉駅前でガイドと合流、平泉駅前 9:20[徒歩]Start⇒観自在王院跡⇒毛越寺 11:35End。(バス移動)中尊寺バス停 11:55[徒歩]Start⇒中尊寺⇒中尊寺バス停 13:35 着 (End)。(バス停付近で昼食)。

みどころ：

- ① 平泉駅前～毛越寺までの街並。観自在王院跡。浄土庭園の舞鶴が池・毛越寺庭園(大泉が池)。毛越寺本堂。鍮水。庭園、池のスケールの大きさ、眺めの素晴らしさに感嘆。
- ② 中尊寺；讚衡蔵(寺宝展示施設)の国宝・重要文化財等の仏教美術工芸品。そして何よりも金色堂の皆金色の美しさ、豪華さに感嘆。また、金色堂旧覆堂の建物の防腐対策、持ちの良さには驚いた。

自然観察：

庭園等の樹木の美しさ。浄土庭園のスケール。

特記事項：

- ・平泉でのガイド、「古都ひらいずみガイドの会」の高橋氏のガイド、話の巧みさ、興味の湧く説明、感服。時間超過のガイドだった。
- ・好天に恵まれ、暑いくらいの日であった。

ふれあい記録

実施日：平成 26 年 10 月 9 日(2 日目)

当番者名 岩崎宗郷 柴崎幸治

コース名：独自コース 19 番 「紅葉の栗駒山」

(通し番号 第 102 回)

天 候：晴れ

参加者名：相川 勲・市瀬 英雄・岩崎 宗郷・江口 正彦・小俣 悦男・神谷 順子・
功力 満紀子・柴崎 幸治・中山 博・西村 寿文・細矢 清志・堀井 克子・宮原 さち子・
宮原 宏至・吉田 千代

<ビジター>

計 15 名 (内、男 10 名 女 5 名) (五十音順)

交 通 (時刻)：

須川高原温泉 15:00 発[岩手県交通バス]⇒一ノ関西口前 16:33(16:26)着(登山・観光客が多く、バス 1 台増便)。一ノ関駅 17:47 発[はやぶさ 104 号]⇒東京駅 19:55(19:52)着。

コースタイム (時刻)：

宿(須川高原温泉) 7:40⇒名残が原 8:27⇒苔花台 8:33⇒昭和湖 8:58～9:12⇒天狗平 10:09⇒天狗岩 10:15⇒栗駒山山頂 10:29～10:40⇒産沼 11:33～11:38⇒三途の川 12:25～12:36(昼食)⇒苔花台 14:58⇒名残が原 13:03⇒宿(須川高原温泉)帰着 13:27。

みどころ：

地獄釜(旧噴火口)、賽の碓、湯気山・浄土平(蒸気を噴く山頂)、名残が原のワタスゲの原、苔花台からの紅葉は最高、地獄谷からの蒸気の噴き出し・硫黄臭、昭和湖(新噴火口)の水の色、天狗平～天狗岩～山頂まで展望のすばらしさ。栗駒山山頂の巨大な標と 360° の展望、産沼(そんな広くはないが)の樹木(紅葉)の写し込み、三途の川の清水。

自然観察：

栗駒山中腹の紅葉。季節柄、花はあまり確認できなかったが、エゾオオヤマリンドウが少々、シラタマノキが 1 輪(季節外れ)確認された。産沼コース下山中、シクナゲの木がかなり確認でき、花の頃は好かろうと思った。

特記事項：

- ・当初予定であった産沼コースを登り、山頂より須川コースを下りる行程を、須川コースを登り、産沼コースを下りたのは正解だった。また、登り初めに予定外で地獄谷(旧噴火口)側のコースを採ったのも剣岳(旧噴火口)と賽の碓も見られて良かった。
- ・バス中からではあるが、「骨寺村荘園跡地」(中尊寺との縁が深く、世界文化遺産「平泉」に追加登録を活動中)を見ることができた。
- ・何ととっても、紅葉が最高の 1 日だった。そして 2 日間とも天候に恵まれたことは特記すべき事項であろう。平日にも関わらず登山客、観光客が多かったのも天気のため？。
- ・帰りの新幹線の乗車列車を 1 時間強の余裕をみて、指定切符を購入していたことも良かったと思う。バスが 7～8 分遅れて到着、16:48 分発の新幹線に乗るにはかなり焦らなくてはならなかったからである(実際、バスの客(登山姿)には降りるときに焦っていた方もいた。)